

07年 ふらすこ 第1号

発行 2007年6月

発賣 北海道勤医協検査技師部会

長らくお待たせいたしました！

2007年度、第1号の『ふらすこ』発行でございます。今年度のふらすこはスゴイ！

何が凄いかって、これまでの季刊発行では情報交換・交流の場が足りなさ過ぎる、年々人数が減り行く北海道勤医協検査技師間の団結を深めるためにも『ふらすこ』の発行回数を増やすべきだ！！『ふらすこ』の持つ役割の重さにもっと着目して、実践すべきだっ！！なんて息巻いたりしたりして、つまりのこと、『毎月発行！』を目標に掲げているのです。なので、皆様、原稿依頼されても笑顔で引き受けて下さいね。今後ともご愛顧のほど宜しくお願い致します。

～07年度 技師部会運営委員一同～

『美しい』
仮面を被った
改憲

派
こちらは、メーデー川柳・十首のうちの一つに選ばれた句です。西区・検査の中西富美子さんが作ら

25回総会・無事終了！！

07年4月21日(土)に菊水ビルにて第25回北海道勤医協検査技師部会が行われました。出席者は41名、委任状での参加は41名でした。総会の冒頭で「けんさ9条の会」の長屋さんより6月23日に行われる「北の国から9条を守る集会」への参加が呼びかけられました。引き続き、総会が行



西区の草刈さんと札幌の山崎さんが任命されスタートしました。

遠藤会長の挨拶の後、2006年度1号議案(事業報告)2号議案(会計報告)と、2007年度事業計画・予算案が続けて説明されました。**07年度の目玉は計上されたことです。**質疑応答では「学会・講習

会の参加において演題を発表した場合は明記すべき」との意見が出され、事務局からは07年度からそのようにする旨の説明がされました。また「検査以外の職場で働いている検査技師が増えているし、また検査以外の資格を持った職種(視能訓練士など)の人も入ってきている。(検査技師の)全員加入について一考を要する時期に来ているのではないか？」の発言に参加者からは「自分も健診部門にいるが、たしかに技師部会に入っているメリットは少ない。しかし(技師部会加入が)自由でよい、というもつながりがなくなるようで少しさびしい気がする」や「事務部門にいるが、他の医療機関でも検査技師が検査以外の部門にかかわっている。そう考えると同じライセンスを持った仲間を大切にしていきたいし、検査技師部会にはこだわっていきたい」などの意見があげられました。技師部会としても今年の討議事項としていきたいと思います。会計報告のほうでは「予算に対して50%程度の支出しかない。(学会・講習会など)参加が少ないのか？」の発言には、技師部会より「学会に行き発表する機会が減っている。技師部会としても支援していきたい。」との回答がありました。他にもたくさんの意見が出され、質疑応答は終了しました。

1号議案・2号議案と2007年度事業計画・予算案は満場一致で採択されました。この後、役員選挙がなされ信任投票の結果2007年度の役員が選出されました。その場で第1回目の運営会議が行われ、会長には札幌の遠藤さんが再選されました。(文責・柳)



あれ？
皆さん、真剣に聞いています。
ちよと眠そっつ？



交流会！！（お二人から原稿が届いたので紹介致します 楽しさがダブルで伝わるかな？）

交流会は総会の後、18時半よりススキノで行われました。今年のお店はおしゃれな感じのお店で、料理もそんな感じで、食べ盛りちゃんの多い私たちには、ちょっと食べ足りなかったかなぁ、って思っちゃいました（TT技師長は米が食べたかった、と申しております）。けど、美味しかったよ。乾杯の後はしばし歓談。小腹も少し満たされたところでゲームが始まったのですが、最初は剣玉。みんな童心に戻ってマジ顔でやってました。次のゲームは総当りでジャンケンをして、勝った相手の顔に丸いシールを貼って行って早くシールをなくした人が優勝、って言うゲームだったんですけどね、これがまたすごい盛り上がりようで、ギャ〜ギャ〜と、とてもいい年こいた大人がやっているようには思えなかったです。つことで2時間は、あっという間に過ぎて、交流会はお開きとなりました。（10条 柳 昌宏）

4月21日夜、総会を終えた後、交流会をしました！参加は27名。場所は『SHUNKAN』という場所でした。眼科の新人さん2名も参加したので、各テーブルごと代表者を決めてそのテーブルにいる人を独断と偏見で楽しく紹介していきました。お腹が落ち着いてきたころ、ゲームに移り、けん玉対決や2人ずつじゃんけんして負けた人の顔にシールを貼ってみんなオモシロくなっていました。（笑）上位の3名にはお菓子などの賞品があたりました（1位開発さん、2位長屋さん、3位中西さん）最後、シールだらけの顔で全員集合写真を撮りました。2次会はカラオケに行きました（北区 五十嵐麻衣子）

はい、チーズ♪



三位賞品の焼きかまです。美味しそうでしょ。

2007年度の
新メンバーです！
皆さん、よろしくお願い
致します



07年度技師部会運営委員会体制



会長 遠藤 由美（札幌） 事務局長 柳 昌宏（中病第1）

運営委員 荒川 磨里（中病第1） 中西 富美子（西区）
江良 祐子（中病第1） 五十嵐 麻衣子（北区）
吉田 優樹（中病第2） 横堀 麻衣子（苫小牧）
山崎 麻子（札幌）

会計監査 中谷 朋枝（中病第1）

二人とも『はしか』では
ありません。あしからず。。





07年度は残念ながら臨床検査技師の採用はありませんでしたが、視能訓練士を2名増やすことが出来ました。眼科の医師達の希望に沿って今後の眼科検査は進んでいくと思います。

とはいえ、一度に2名の新卒を抱えての眼科はなかなか厳しい状況です。西区への助勤も週に2回行っていますし、木曜日には夜間診療もあって地方への特診も年間5回予定されています。週末には患者会行事も入ることもあり、みんな入れ替わり立ち代りしながら、またパートさんの力を借りながら頑張っています。

視能訓練士は中病に異動になった片山さん、札病の高橋さん、そして今回採用となった2人の計4名。直ぐにでもあれして欲しい、これして欲しいと医師からの要求は高まるばかりですが、先生達には「まだ2人は新人さんなんですからね、よろしくお願いしますね。」と技師長からの固いガードで守りつつ、今急成長している眼科検査なのであります。

そして新人二人の紹介です

技師長の勝手な！

NAKAMA GA
FUETE URESHIINE



東 由紀子さん

癒し系のお姉さん風です。社会人から視能訓練士の学校へ行き、視能訓練士の道へ。落ち着いた雰囲気でお患者さんに接していますが、内心ドキドキすることも…。大阪で実習していたので札病のお患者さんもやさしくて大丈夫とっていました。やはり関西は言葉がきつく聞こえるのでしょうか。銀行から病院という全く違う分野ですが、さすがに患者対応はばっちりです。

阿部 紗世さん

高専卒業後、方向転換し視能訓練士へというちょっと変わった経歴の持ち主です。専門学校に講師に行っていた永井先生（札病眼科ロービジョン専門医）の講義を聞いてロービジョンに興味を持ち、勤医協へ入職しました。やはり落ち着いた感じで仕事を確実に覚えていきます。お患者さんの対応も慣れていて安心して見てられます。



～ 技師川柳～

サラリーマンだけが辛いんじゃないっ！

技師だって川柳を詠んで

日常の悲喜交々を表現したいんだっ！！

・・・ということで、冒頭にも述べましたが、今年のメーデー川柳コンテスト10選に見事、西区検査の中西富美子さんの句が選ばれました。そこで今、にわかに川柳ブームが沸き起こっているのです。（えっ！？ どこで？ いやいや、技師部会運営委員会の中で・・・アハ）

「欧米か！」 ブーツのままで 心電図 …… 中西作

これって、心電図やエコー検査に入っていたらよくわかりますよね。ベッドに横になるように伝えたら、「靴履いたままですか？」って聞くお患者さん。そんな時、すかさず心の中で「欧米か！」とツッコミを入れてから、「靴は脱いで下さいね」とニコリ笑顔で対応します。タカ&トシにも教えたい！

ダイエット 炭水化物 目のかたき
ぱっくりと 触れる血管 嬉しいな（採血室）
見えません！ どうしてこんなに 太るのよ（エコー室）
我ミスは あわてずそっと しまつする
早く呼べ！ オレは7時から 待っている

技師川柳、募集しています！！
是非、日頃の思いを5・7・5の世界で昇華させてみませんか？
ドシドシお寄せ下さい。お待ちしております
いまーす

乳腺定期学習会やってますっ！！

中央病院では、2006年度まで2ヶ月おきに不定期開催していた、乳腺学習会をグレードアップ、4月から毎月の定期学習会としました。

乳腺エコー・マンモグラフィー・MR・病理組織の各方面からディスカッション形式での症例検討です。毎月第4または第3火曜、前月に中病で乳腺のopeをした症例について、18:30から1~2時間程度(画像供覧は18:00~)学習を積み重ねて集団でレベルUPをはかるとともに、乳癌学会の認定施設の条件;多職種の定期的な学習会の実施のクリアーをめざしています。多くの院所からの参加をお待ちしています。

というわけで、5月22日の学習会の報告です

この日は、検査は中病・札幌病・西区から6人、放射線は中病・札幌病8人、外科医2人、病理医2人の計18人の参加。症例は札幌病から紹介でopeになった2例でした。

一つの症例ごとに、まず放射線から、マンモグラフィーとMRの画像の読み、ついでエコー画像を検査から、その後最終診断を細胞診・摘出標本・病理などから病理医・外科医から説明とすすみます。この日は「グレート」中西さんの参加もあり、画像の読みだけでなく、より臨床にわかりやすく、情報を適切に伝えるための画像の撮り方についてのアドバイス・情報交換も行なわれました。エコーやマンモグラフィーに加え、病理の確定診断、標本の断面などを確認し、より理解が深まりました。(文責・板垣)

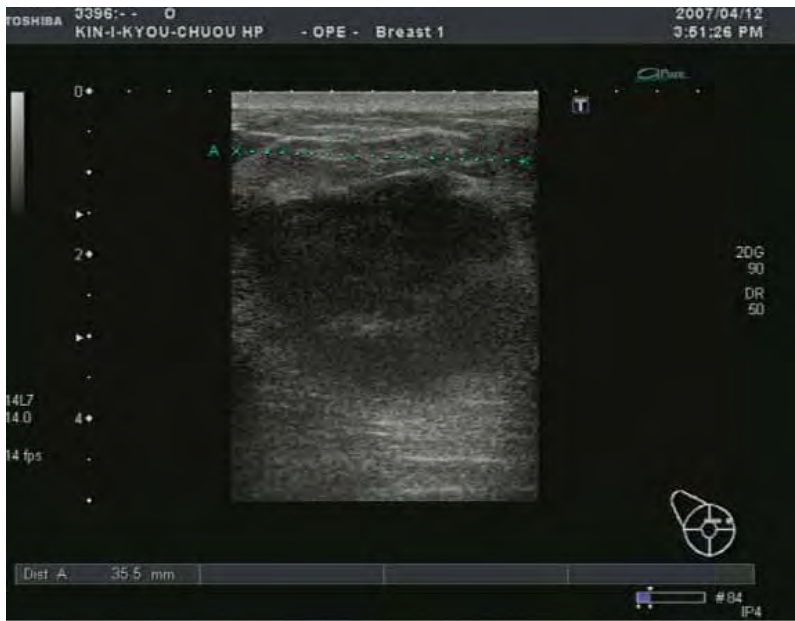


写真1;
何でしょう? この写真でさらに工夫すべき点は?

境界がよく
わからないな~
フォーカスって
どうなってるの?
Massの周囲
は?



写真2;
何でしょう? 乳腺や周囲組織との位置関係は?
(答えを知りたい方は参加者まで)



落とし穴?
なんだか見たこと無い形をしてるぞ? 乳腺ってどこ?

